

4 ページ 発信!

奄美 シマの 自然と文化を

世界へ!

発行：環境省奄美自然保護官事務所

# NEWS

このニュースレターでは、奄美群島にお住まいのみなさんに、世界自然遺産登録や国立公園指定に向けた取組状況をお知らせします。ぜひお読みいただき、奄美のことを一緒に考えていきましょう!

# LETTER

## 奄美野生生物保護センター

# リニューアル

ほぼ

# 完了★

4月29日(祝)

リニューアルオープン

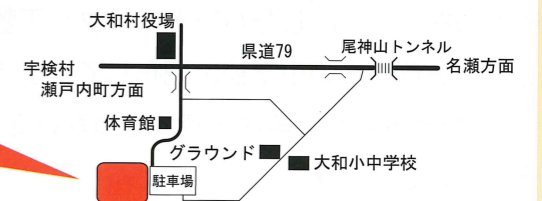
記念式典予定!

記念品のプレゼントもあるみたいだよ~♪

NEW!



皆様お誘いあわせの上、ぜひ新しく生まれ変わったセンターにお越しください☆



オープン以降、

奄美マングースバスターズや研究者、地域の方々などの協力のもと、センターにはたくさんの

「生きもの情報」が集まってきました。

今回のリニューアルでは、14年間で蓄積した情報などをフル活用し、

「奄美群島の生きものたちでにぎやかに!」

を合言葉としてスタッフ一同作業に励んできました。

地域の方々に親しまれ愛されるセンターとなるため、

「居心地のよい空間づくり」にも力を入れました。

地元専門家の方々から、

もたくさんのご協力をいただき、より「本物の奄美」を体感できるようなものに仕上がりました。



ついでに、じいちゃんの話し聞かせて



昔の話? 何の話しかい?

何でモ?

.....

島の自然と文化は自然遺産の価値がある。

それと同じ価値がある宝物。

それが

## 「記憶にある島の暮らし」

## 話して、書いて、書き留めて。



アフリカのある国に「ひじりの高齢者を失うことは、ひじりの図書館を失うことと同じ」という諺があるそうです。海や山や川で遊んだことなつかしい食べ物、着ていたもの、話していた言葉、歌っていた唄、踊り。これを読んでいたあなた方は、どうかそれぞれの「島の暮らし」を書き留め、伝えたいです。若い方は、まわりにも「高齢の方がいるならばどうか訪ねて、聞いて、書き留めたいです。その一言、一言が貴重な島の宝物です。

じいちゃんの話しまた聞くか? うん!

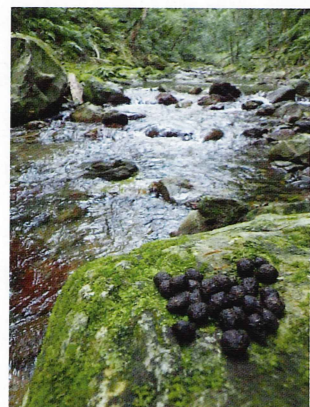


### ~コラム~ 奄美の山ひとり歩き

奄美野生生物保護センターの一大イベント、アマミノクロウサギのフン調査。沢を歩きながら、フンを一粒一粒カウントしていきます。

写真のような芸術的な光景に出会うと、調査の手(指?)を休めしばし時の流れに身をゆだねます。コケの緑と水の流れ、そして絶妙なバランスでたたずむフン塊。。。私が「いつまでも残っていてほしいなあ」と思う、奄美の宝物のひとつです。

みなさんが残したいもの、わきゃシマの宝物はなんですか??



### 編集後記

聞いて書き留め伝えていくことを「聞き書き」と言うそうです。先日、西仲間集落での聞き書き調査に同行させていただいた時のこと。「昔の川のこもり(淵)はキラキラして綺麗だった」「鮎で川が真っ黒に見えた」「水田が広がっていて~」などなど、私の知らない奄美を楽しそうに話してくださる、じいちゃん、ばあちゃん。聞き書きの別な大切さを感じた黒豚でした。(黒豚編集長)

連絡先：環境省奄美自然保護官事務所 電話：0997-55-8620

世界自然遺産登録に向けて、さまざまな取組を加速させていくことが求められる奄美群島。  
今号では、前号に引き続き「世界自然遺産登録に向けた取組」と「奄美群島の島々の魅力」  
を紹介していきたいと思えます。



世界自然遺産登録に向けた取組（その2）

奄美野生生物保護センターでは、奄美自然体験活動推進協議会と連携して、将来を担う子供たちをはじめとする島の方々に、奄美群島の自然や生きものたちへの理解を深めていただくためのさまざまな取組を行っています。

# 普及啓発

## 環境教育

スタッフが小中学校に出向いて、奄美の自然や生きものに関する授業などを行っています。奄美野生生物保護センターの見学やセンターでの解説なども随時受け付けています。



## わきゃあまみ

毎年1回「わきゃあまみ」シリーズと題して、奄美の生きものをテーマにしたハンドブックや下敷きなどを作製し、奄美群島内の小学校に配布しています。子供たちが「わきゃあまみ」に興味を持つきっかけを作ることができればと思います。



## ホームページができました！ HP

このほど、奄美野生生物保護センターのホームページができました。  
奄美の生きものやイベント情報などを  
どんどん発信していくよ～！

※「奄美野生生物保護センター」で検索  
または <http://amami-wcc.net/>



## 自然体験イベント

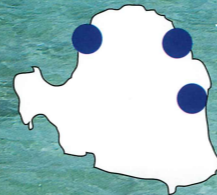
毎年3回程度、奄美のさまざまな自然を舞台に、地域の専門家の方々に先生を迎え、子供たちを対象とした自然観察会やクラフト教室などを開催しています。毎回子供たちの笑顔でいっぱいになります。（上写真）

世界自然遺産登録候補地  
「奄美・琉球」の島々

# 与論島

奄美群島の最南端に位置する与論島。どこまでも続く碧い海、海、海！  
現在与論島では、奄美群島の他の島々と同様に、新たな国立公園を指定するための作業が進められています。今回は、そんな与論島の自然について魅力地点とともに紹介していきます。

品覇海岸



皆田海岸

大金久海岸

ヨロン島観光ガイド

<http://www.yorontou.info/>

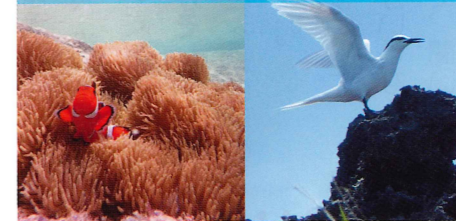
## 1 品覇海岸

島の北西に位置する海岸で、波によって削られたサンゴ礁など、おもしろい景観を楽しむことができます。



## 2 皆田海岸

島の北東に位置する皆田海岸。生きものの観察にはもってこいの場所です。夏、目の前の岩礁は海鳥たちで活気づき、暖かなサンゴの海を覗き込めばそこは別世界！色とりどりの魚たちが元気に泳ぎ回っています。



## 3 大金久海岸

島の東側に位置する、サンゴ礁に囲まれた海の広さを実感できる海岸です。園地やキャンプ場などが整備されていて、海水浴などを楽しむことができます。干潮時には、沖合に百合ヶ浜が出現します。



## 開催報告 (地域づくり検討会)



■平成26年3月6日に、「平成25年度第2回奄美地域の国立公園指定・世界自然遺産登録に向けた地域づくり検討会」が開催されました。今回は、1975年から5年間、瀬戸内町にある東京大学奄美病害動物研究施設に勤務されていた国立科学博物館の林良博館長をゲストにお迎えしました。

林館長からのアドバイス  
行政や民間、地域の方々が、それぞれの立場で明日から何ができるのかを考えましょう。  
観光客には、「本物」の奄美の自然や文化を見せる工夫が必要です。